

## 1. 第7次医療計画における「医師確保計画」の概要

### (1) 目的

国の示す必要医師数等が府の実態にそぐわないものであったことから、府の実情を把握した上で、府独自で将来必要となる医師数を算出し、本計画を通じて、医師の地域偏在及び診療科偏在の解消に努めるとともに、地域医療構想や医師の働き方改革を踏まえた医療提供体制の確保を図ることとした。

### (2) 主な取組

#### ①医師確保の取組

- ・地域医療支援センターにおいて、修学資金を貸与した地域枠医師等を対象としたキャリア形成プログラム※を活用して、地域医療構想を踏まえた医師の派遣調整を実施

※地域枠医師等を対象に、キャリア形成と偏在対策を両立させたプログラム

#### ②勤務環境改善の取組

- ・医療勤務環境改善支援センターにおいて、医療機関における勤務環境改善の取組を支援

### (3) 令和4年度における取組の評価

取組内容	達成率	実績数	第7次計画策定前	
			達成率	実績数
キャリア形成プログラムの作成	100%	16人	40%	5人
医療勤務環境改善支援センターによる地域枠医師派遣先病院の支援	100%	9機関	—	—

## 2. 第8次医療計画における「医師確保計画」の策定に向けて

### (1) 課題

国による目標医師数、必要医師数が全国の医師偏在を解消させることを目的に算出されており、本府における医療の実態や課題（高齢化による医療需要の増加、医師の働き方改革による影響や医師の年齢構成の変化による医療の質の確保等）を反映したものになっていない。

### (2) 計画策定にあたっての基本的な方針

第7次計画の考え方を踏まえつつ、府内医療機関及び医師を対象とした実態調査を行い、医療需要や医師の勤務実態を把握した上で、府独自の必要医師数の算出や医師確保策の検討を行うとともに、令和6年度から開始する医師の時間外労働上限規制の実行性を確保するための取組（特定労務管理対象機関における追加的健康確保措置の実施状況の確認等）を行うことを明記するなど、府の実情や医師の働き方改革を踏まえた計画を策定する。

医師偏在指標（国提供）

区域	厚労省提供データ（暫定） （8次医療計画）		
	医師偏在 指標	全国順 位※1	区分 ※2
全国	255.6	—	—
大阪府	288.6	7	医師多数都道府県
豊能	350.7	14	医師多数区域
三島	277.5	53	医師多数区域
北河内	232.4	91	医師多数区域
中河内	205.5	140	
南河内	286.0	48	医師多数区域
堺市	225.6	95	医師多数区域
泉州	218.8	108	医師多数区域
大阪市	369.0	10	医師多数区域

（参考）第7次計画における医師数の比較

二次医療圏	国算出による数値		府算出による数値	
	現在医師数 ※	必要医師数 (2036年)	現在医師数 ※	必要医師数 (2036年)
豊能	3,538	2,882	3,313	4,229
三島	1,914	1,962	1,853	2,203
北河内	2,598	2,905	2,446	2,703
中河内	1,479	1,782	1,534	1,560
南河内	1,720	1,510	1,430	1,600
堺市	1,906	2,254	1,853	2,087
泉州	1,890	2,333	1,925	2,129
大阪市	8,841	6,509	8,779	9,943
大阪府計	23,886 (a)	22,206 (b)	23,133 (c)	26,454 (d)
	(b) - (a)	▲1,680	(d) - (c)	3,321

※1：大阪府は47都道府県における順位、二次医療圏は335医療圏における順位

※2：全国上位1/3を医師多数区域、下位1/3を医師少数区域と区分

※現在医師数：国算出数値は、2016年三師調査の医師数より集計  
府算出数値は、2018年日本アルトマーク社MDB医師数より集計

第8次医師確保計画における2036年の必要医師数は、実態調査を踏まえ今後算出

### (3) 実態調査の実施

#### <調査対象>

医療機関：約 1,700 施設、医師個人：約 18,000 人

#### <調査項目>

- ①必要医師数の分析や医師の勤務実態把握に必要な項目（例：労働時間数（時間外を含む）や宿日直の回数 など）
- ②医師確保策の検討に必要な項目（勤務環境改善に向けた取組の実施状況（例：子育てしやすい環境づくりや医師の負担軽減策 など）

### (4) 府の実情を踏まえた計画内容の検討

#### ①府独自の必要医師数(2026年・2036年)の算出

- ・2026年と2036年において設定（二次医療圏別）
- ・産科、小児科、救急科については、診療科別に設定
- ・国が示す必要医師数は参考数値として掲載

#### ②医師確保策の検討

- ・医師の偏在（地域偏在及び診療科偏在）の解消に向け、二次医療圏・診療科別の医師確保に向けた取組を検討
- ・医師の働き方改革による時間外労働時間の規制等を踏まえ、勤務環境改善に向けた取組を検討

### (5) 全体構成（案）

※下線部は現計画からの主な変更追記箇所

## 第1章 大阪府医師確保計画について

- 第1節 医師確保計画策定の背景
- 第2節 医師確保計画の記載事項
- 第3節 医師確保計画の評価

## 第2章 医師確保の現状と課題

- 第1節 医師確保の現状
- 第2節 医師確保の課題

## 第3章 必要となる医師数(2026年・2036年)

- 第1節 国の考え方
- 第2節 大阪府の考え方

## 第4章 医師の確保と資質向上に関する施策の方向

- 第1節 医師確保の方針
- 第2節 医師確保の取組
- 第3節 医師の勤務環境改善に向けた取組